

株式会社サンリッチ三島

有料老人ホームサンリッチ三島

業務量の削減・待遇の透明化・人材育成・福利厚生  
の充実に取り組んでいます。



サービス種別	特定施設入居者生活介護
所在地	三島市川原ヶ谷264番地の2
電話番号	055-976-6500
職員数	86人
設立	1993年
メールアドレス	himawari@sunrich-mishima.jp
ホームページ	<a href="https://www.sunrich-mishima.jp/">https://www.sunrich-mishima.jp/</a>

## 取組紹介

### 1 先端技術の活用による業務量削減と生産性向上

介護職員の日々の業務量削減及び生産性向上のため、先端技術やデジタル化の活用を積極的に行っている。これにより、介護業務に時間的余裕をつくりだし、休みが取りやすい職場環境を目指している。

### 2 自社器具の開発

自社開発の移動式おむつ専用ゴミ箱「おむこ」は自動開閉と臭いを閉じ込める工夫をした。臭いのない職場環境を維持するため、おむつはビニール袋ではなく特殊な紙に包んで処分している。ほとんど臭いはせず、利用者、職員からも大変好評である。

### 3 同一業務同一賃金

待遇の透明化と福利厚生 of 充実に進めている。常勤及びパートはすべて公平。パートは業務比率に応じて時間給・賞与・退職金を算出して支給している。昨今、物価手当も支給した。

## 受賞者メッセージ

受賞について職員皆が喜んでおります。今までより、モチベーションも高くなっております。この受賞を機に、さらにバージョンアップを続けていくことが受賞したことへの感謝になると考えております。そして、一生懸命頑張れる職場環境の維持・改善に取り組むことが利用者へのサービス提供の質向上につながっていくもの考え、職場環境改善のバージョンアップを続けてまいります。



Pick UP!

## 施設から臭いをなくすことへの挑戦

### ◆取組を始めた経緯

おむつの処分で発生する臭いを抑えて、快適な環境を維持するとともに、介護職員の負担と不快感を軽減したいと考え、おむつの処分について様々な方法により試験を行いました。

臭い計測の高感度センサーも導入して臭いを数値化しました。コロナ禍での感染予防対策も開発のきっかけになりました。

### ◆取組の概要・特徴

臭いをなくすために自社器具「おむつ専用ゴミ箱」の開発に取り組みました。どうしたら臭いを封じ込めることができるか、感染予防対策の方法及び使用材料などの検討を重ね、設計図・仕様書を作成しました。

これら資料を用いて、何度も試作品を作りました。

特に、コロナ禍にあっては、感染予防を考慮して蓋は自動開閉（センサー）にこだわり、臭い対策のため消臭合板を採用しました。また、キャスターを付けることで介護職員の負担軽減を図ることもできました。

### ◆工夫したこと苦労したこと

おむつ専用ゴミ箱の自動開閉（センサー）の蓋の購入に苦労しました。感染予防対策のためにも自動開閉の蓋を取り付けることが最終目標でしたが、なかなか良い蓋が見つかりませんでした。時間を要しましたが、適切なセンサー付の蓋が見つかり開発が加速しました。

### ◆取組の成果

臭いの削減や臭いのしない施設を目指しており、その目標を達成することができました。キャスター付きのため移動も楽になり、介護職員の業務量の負担が軽減されました。

また、ベッドサイドでのおむつ交換においても、臭い削減が瞬時に出来るようになり、利用者に対しても働く介護職員に対しても臭い対策を実現することができました。



（器具開発における検討会の様子）



（オムツゴミ箱「おむこ」）

### 今後に向けて

臭い対策に取り組む施設が増えるよう、当社の取り組みの見学等を積極的に受け入れて貢献してまいりたいと思います。当社開発のおむつ専用ゴミ箱「おむこ」と特殊な紙を利用することで、驚くほどに臭いの削減が達成できます。今後も自社器具の開発にチャレンジして、社会貢献ができればと考えております。